

令和2年12月18日

報道機関 各位

文部科学省 大学の世界展開力強化事業～アフリカ諸国との大学間 交流形成支援～に本学の PHASE Program が採択

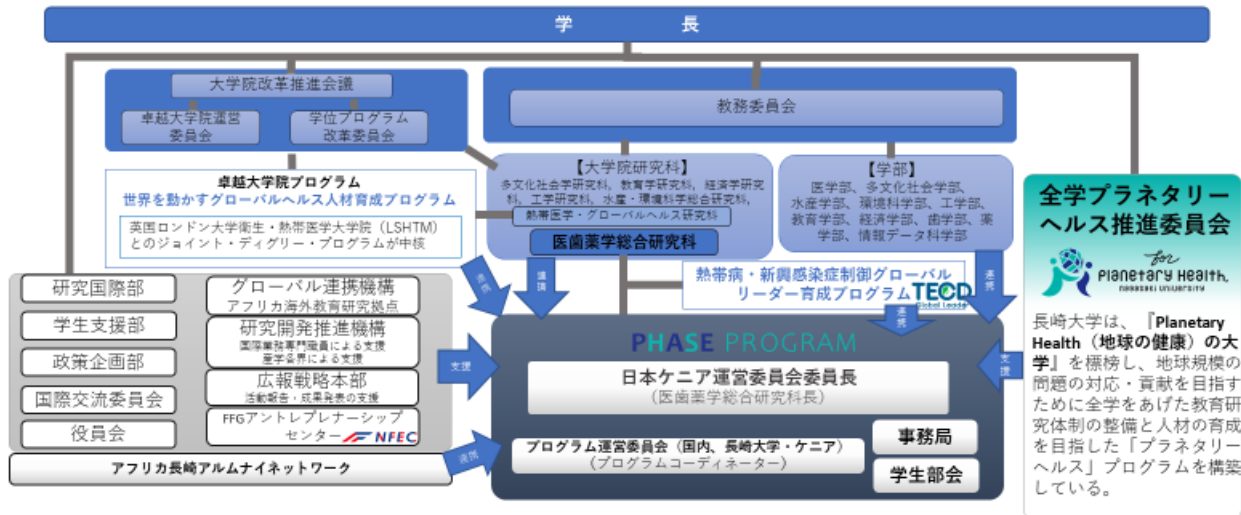
この度、本学医歯薬学総合研究科が主管となり全学プログラムとして提案した『プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム(PHASE Program※)』が大学の世界展開力強化事業に採択されました。世界展開力事業は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指した事業です。今回、本学が1966年からの医療団派遣以来、深い関係にあるケニア共和国の4つの大学・教育機関を繋ぎ、本学が推進するプラネタリーヘルスのコンセプトを中心にといったプログラム設計を行っています。今後5年間、本学とケニアの学生の交流を活性化し、さらに国際的に活躍できる人材を育成していきます。

※ PHASE Program: Planetary Health Africa-Japan Strategic and Collaborative Education Program の略名です。

以下、組織図、概念図を添付します。

① 大学の国際化に向けた戦略における事業の位置付けと全学的推進体制

2



全学的推進体制の拡充：第3期中期目標期間以降も見据えた更なる国際化に向けた取組を加速的に実施

(第3期中期目標「大学の基本的目標」)

- 「人間の健康に地球規模で貢献する世界的“グローバルヘルス”教育研究拠点」となること、
- 「キャンパスの国際化と日本人学生の留学の飛躍的拡大の実現」、
- 「多文化が共生する国際社会の現場で活躍する力を兼ね備えた長崎大学ブランド人材の育成」(長崎大学第3期中期目標から一部抜粋)

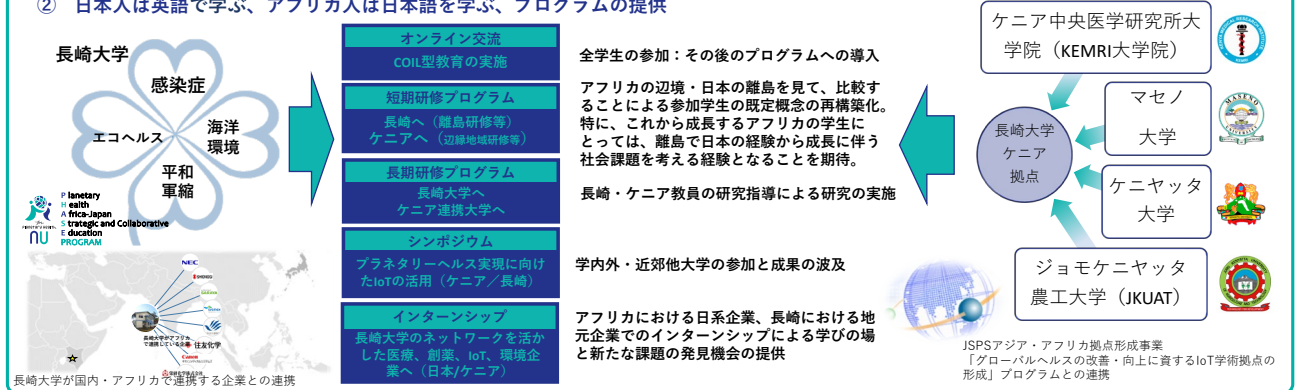
① 大学の国際化に向けた戦略における事業の位置付けと全学的推進体制

【交流プログラムの目的と内容】

目的：地球の健康に関するアフリカとの機動的かつ戦略的の大学間ネットワークを構築し、日本とアフリカの架け橋となり、地球規模の課題解決に向けた協働活動を指導的な立場から展開できる人材の育成。

内容(インプット)：

- ① プラネタリーヘルス、4テーマに関する講義・プログラムに参加し、異なる背景を持つ同年代の学生と切磋琢磨し、地域、母国、世界での自分に何ができるか考え、さらに
- ② 日本人は英語で学ぶ、アフリカ人は日本語を学ぶ、プログラムの提供



達成目標:

アウトプット：『地球の健康に関する課題解決を牽引する人材の養成』
目標：「日ア延べ95名(派遣47名、受入48名)の学生交流」とする。アウトカムは、『地球の健康の実現』

アウトカム：『地球の健康の実現』

目標：「育成した人材がケニアのその他大学・研究機関と学際的に連携して、地球規模の課題解決に向けた教育研究活動を活性化させ、先導的活動を展開し、次世代人材育成につなげていくサイクルの構築」

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課(大学院)

担当: PHASE プログラム事務局 岩丸・中尾 TEL 095-819-7009 / FAX 095-819-7168

Email dai_med@ml.nagasaki-u.ac.jp